

9/25  
泉福



国会前で安保関連法の廃止を訴える人たち=24日夜

## 非暴力で9条守る

### 安保法 市民団体、国会前で集会

他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法の廃止を訴える集会が二十四日夜、東京・永田町の国会前で開かれた。小雨の降る中、市民らが国会に向かって「戦争法は絶対廃止」「廃止にするまで闘おう」などと訴え、この声を突き上げた。集会は「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が主催し、参

加者は五千人（主催者発表）。法は十九日未明の参院本会議で成立したが、主催者は「私たちの歴史的な闘いは敗れていない。憲法九条を手掛かりに徹底的に闘い抜き、戦争法をたたきつぶす」とアピールした。集会は法案の閣議決定後の五月二十一日から毎週木曜に行われてきた。ほぼ毎回参加した埼玉県入間市の無職榎本よう子さん（68）は「参加者はずっと理性的に非暴力で訴えてきた。これからも運動を廃らせず、子どもたちの未来のために憲法九条を守りたい」。初めて参加した東京都品川区の土屋研一さん（44）は「強行採決への怒りが収まらず駆け付けた。白紙撤回を求め行動を続けて市民への理解を広め、与党が無視できないほどに声を響かせたい」と話した。

## 野党議員らフォーラム

安全保障関連法に反対する野党議員による超党派議員連盟「立憲フォーラム」と市民団体「戦争させない1000人委員会」は二十四日、国会で緊急集会を開き、安保法廃止や、来年夏の参院選に向けた取り組みについて話し合った。立憲フォーラム幹事長の辻元清美衆院議員（民主）は「安保法は憲法違反だと言いつつ、廃止への具体策づくりに取り組み。イスラム国（IS）に対する空爆への後方支援や南シナ海での警戒監視活動への自衛隊参加などについても、一つ一つ歯止めをかけていきたい」と国会での活動方針を説明した。来年夏の参院選に関しては「野党各党が力を合わせるようにとの要請がある。政治勢力結集の運動が盛り上がり、議員が動く」と、野党協力実現に向けた市民の働きかけを促した。あいさつした法政大の山口二郎教授も「参院選は立憲主義を守る選挙だ。一人区を中心に、きちんとした受け皿をつくることを新たな目標にし、運動を続けよう」と呼び掛けた。集会に

は超党派の野党議員や市民ら三百余人が参加した。